

平成27年6月遠野市議会定例会会議録（付録）

会期日程（8日間）

日次	月日	曜	会議区分	開議時刻	日 程
第1日	6月5日	金	本会議	午前10時	開 会 1 諸般の報告 2 会議録署名議員の指名 3 会期の決定 議会運営委員長報告、採決 4 議案の上程 (議案第37号～議案第47号まで 11件) 提案理由の説明 5 予算等審査特別委員会の設置（議案の付託）
			委員会	本会議終了後	予算等審査特別委員会（正副委員長互選）
			諸会議	委員会終了後	議員全員協議会
第2日	6月6日	土	—	—	休 会
第3日	6月7日	日	—	—	休 会
第4日	6月8日	月	本会議	午前10時	一般質問
			諸会議	本会議終了後	議員全員協議会
第5日	6月9日	火	本会議	午前10時	1 一般質問（発議案締切日） 2 議案の上程 (議案第48号 1件) 提案理由の説明
			委員会	本会議終了後	常任委員会（請願審査等）
第6日	6月10日	水	委員会	午前10時	予算等審査特別委員会
第7日	6月11日	木	委員会	午前10時	予算等審査特別委員会
第8日	6月12日	金	諸会議	午後1時	議員全員協議会
			本会議	午後2時	1 諸般の報告 2 予算等審査特別委員長報告 (議案第37号から議案第48号まで 12件) 質疑、討論、採決 3 常任委員長報告（2件） 質疑、討論、採決 4 委員会の閉会中の継続審査について 5 発議案の上程 (発議案第3号～発議案第4号まで 12件) 提案理由の説明、質疑、討論、採決 6 議員の派遣について 閉 会

議案等一覧表

〔市長提出議案〕

番号	件名	付託委員会	議決月日	議決結果
37	平成26年度遠野市一般会計補正予算（第10号）の専決処分に関し承認を求めることについて	予算等審査特別委員会	6月12日	承認
38	遠野市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	〃	〃	〃
39	遠野市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	〃	〃	〃
40	遠野市史編さん委員会条例の制定について	〃	〃	原案可決
41	遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
42	遠野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
43	遠野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
44	第2次遠野市総合計画基本構想の策定について	〃	〃	〃
45	東日本大震災に係る原子力損害の和解に関し議決を求めることについて	〃	〃	〃
46	遠野東工業団地造成工事の請負契約の締結について	〃	〃	〃
47	平成27年度遠野市一般会計補正予算（第1号）	〃	〃	〃
48	平成27年度遠野市一般会計補正予算（第2号）	〃	〃	〃

〔報告案件表〕

番号	件名	付託委員会	議決月日	議決結果
4	平成26年度遠野市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	—	—
5	平成26年度遠野市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	—	—	—
6	平成26年度遠野市水道事業会計予算繰越計算書について	—	—	—

〔発議案〕

番号	件名	付託委員会	議決月日	議決結果
3	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について	教育民生	6月12日	原案可決
4	「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」の継続を求める意見書の提出について	〃	〃	〃

請願一覧表

〔今議会に提出されたもの〕

受理番号	請願の要旨	提出者	付託委員会	議決月日	議決結果
1	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2016年度政府予算に係る意見書採択の請願	花巻市四日町3丁目13-10 岩手県教職員組合花巻遠野支部支部長 菊池 利行 遠野市東館町9-17 岩手県教職員組合花巻遠野支部遠野支会支会長 栃内 秀茂	教育民生	6月12日	採 択
2	「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」継続の請願	花巻市四日町3丁目13-10 岩手県教職員組合花巻遠野支部支部長 菊池 利行 遠野市東館町9-17 岩手県教職員組合花巻遠野支部遠野支会支会長 栃内 秀茂	〃	〃	〃
3	農協法改定をはじめとした「農業改革」に関する請願	盛岡市南仙北2丁目25-6 岩手県農業協同組合労働組合 中央執行委員長 齋藤 禎弘	産業建設		継続審査

一般質問一覧表

質 問 者	質 問 の 要 旨
<p>萩野幸弘議員 (一問一答)</p>	<p>1 一次産業の現状と六次産業化の推進状況について (1) 本市の一次産業生産額の総生産額に占める割合について、どのように捉えているか。 (2) タフ・ビジョンについて ・体制は当初目的どおり機能しているか。 ・これまでの成果について数値を交えて伺う。 ・今後の方向性や数値目標について (3) 六次産業化について ・これまでの活動内容や成果は。 ・現状の課題や問題点と対策について ・海外も視野に入れた販路開拓等、今後の見通しは。</p> <p>2 本市の景観形成と交流人口拡大について (1) 遠野らしい景観の定義をどのように捉えているか。 (2) いわて国体のおもてなしと景観のあり方を伺う。 (3) 桜の名所としてのまちづくりへの見解は。 (4) 防犯灯のLED化に係る発光色等について</p>
<p>小松大成議員 (一括質問)</p>	<p>1 「安全保障関連法案」に対する市長の見解は 安倍政権は、「安全保障関連法案」を国会に提案し審議されている。これまで国会審議でも明らかになってきた。弁護士の強制加入団体でもある日弁連も「この法案は幾重にも憲法9条を蹂躪する憲法違反の法律であり許されない」と声明を上げ反対運動の先頭に立っている。市長の見解を伺う。</p> <p>2 医療保険改革法に対する市長の見解は 今後の医療制度を根本的に転換させるといわれる医療保険改革法案が成立したが国民理解を得て成立した制度改革とはいえない。特に国保の市町村運営から都道府県への移管は多くの問題を抱えており自治体の理解を得たものとは言い難い。この法案成立による遠野市への影響をどのように捉えているのか、市長の見解を伺う。</p> <p>3 農業委員会法改正案に対する農業委員会会長の見解は 農業委員会法改正法案が今国会で審議されている。この問題は農地の権利に関わる権限を持つ農業委員会のあり方を根本的に変える重大な問題である。農業委員会会長の見解を伺う。</p>
<p>佐々木 大三郎 議員 (一問一答)</p>	<p>1 防災対策について (1) 「防災マップ」の作成、全戸配布から1年経過している。見直し更新の時期にあるのではないか。 (2) 地域の自主防災力向上に向けた今後の取組方針は。 (3) 災害用伝言ダイヤルなど情報通信機器類の利用方法は、防災訓練を通じた実体験により習得する必要があると思うがどうか。 (4) 災害発生の危険性が高いところは、事前に未然防止策を講じる必要があると考えるがどうか。</p> <p>2 人口減少対策について (1) 人口減少対策として、どのようなことを最優先に掲げ対応しようと考え</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨
	<p>ているか。</p> <p>(2) 既立地企業から多数の求人があった場合の対応策について、どのように考えているか。</p> <p>(3) 新規学卒者を地元に着させる方策の一つとして、他地域並みの賃上げが必要であるとするが、市長の見解を伺う。</p> <p>(4) 子育て支援住宅の整備について、その時期と考え方などについて伺う。</p> <p>(5) 空き家情報と空き家活用希望者情報のデータベース化によるマッチングに注力すべきと考えるがどうか。</p> <p>(6) 人口減少対策の市長スタンスは、「少しでも減り方を抑える」「現状を維持させる」「何年か後に増加させる」「これ以外」のいずれと考えているか。</p>
<p>菊池 巳喜男 議員 (一問一答)</p>	<p>1 認知症対策の現状と今後の方向性について</p> <p>(1) 認知症施策の総合的な推進はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 認知症サポーターの養成は進んでいるのか。</p> <p>(3) 地域での見守り体制は充実されているのか。</p> <p>(4) 認知症高齢者の権利擁護対策はなされているのか。</p> <p>2 学校教育の充実について</p> <p>(1) 重点目標の一つである「学力向上の推進」の取組状況は。</p> <p>(2) 長期入院などの児童生徒の学習指導対策はどうなっているか。</p> <p>(3) 県立高校再編の状況はどうなっているか。</p>
<p>小林 立栄 議員 (一問一答)</p>	<p>1 がん対策の充実について</p> <p>がんは、日本人の2人に1人が生涯のうちにかかる「国民病」であり、亡くなる人は年間36万人を超える。市民の生命と健康を守る上で、予防・早期発見が重要であり、がん対策の充実について伺う。</p> <p>(1) がん検診の目的について</p> <p>(2) 子宮頸がん検診（HPV検査と細胞診の同時併用法の導入）について</p> <p>(3) 胃がん検診（胃がんリスク検診の導入）について</p> <p>(4) 小中学校における「がん教育」の推進について</p> <p>2 農産物（加工品を含む）の輸出への取組について</p> <p>農産物の輸出は、農家の収入増、働き手の新規就農など、地域の活性化に役立つと期待される。地理的表示保護制度を活用してブランド化を図り、輸出へ取組む必要があると考えるが、所見を伺う。</p> <p>3 クラウドファンディングの利用拡大について</p> <p>自治体がクラウドファンディング（不特定多数の人からインターネット経由で資金を集める手法）を活用する動きが広がっている。地域活動や事業に取組む個人や団体への支援、地域振興や社会的意義のある事業への活用など、クラウドファンディングの利用拡大について市長の考えを伺う。</p> <p>4 若者の社会参加促進について</p> <p>世代を超えて、幅広く意見を出し合い議論を深め、結論を導いていくことが、これから地域づくりを進める上で重要であるとする。若者の社会参加促進について伺う。</p> <p>(1) 遠野市総合計画、若者の意見の反映について</p> <p>(2) 審議会等に、若者枠を設ける規定を。</p>

質 問 者	質 問 の 要 旨
細 川 幸 男 議員 (一括質問)	<p>1 生活保護費の支給状況について</p> <p>(1) 遠野市の生活保護費の支給率は、他市と比較してどのような状況なのか。</p> <p>(2) 生活保護受給者への保護解除に向けた指導や支援等の現在の取組状況について</p>
浅 沼 幸 雄 議員 (一問一答)	<p>1 市長と語ろう会について</p> <p>今回の市長と語ろう会を通じての市政課題をどのように捉え、それを総合計画を含めた今後の政策にどのように反映していくのかについて伺う。</p> <p>2 若者の定住について</p> <p>少子化対策や人口減少対策の一環として、当市でも若者の定住化を図っているが、今後の定住化推進策について伺う。</p>
瀧 本 孝 一 議員 (一括質問)	<p>1 旧遠野情報ビジネス校の校舎跡地活用の方向性について</p> <p>従来からの懸案である、旧遠野情報ビジネス校の校舎跡地利活用策の進展状況と今後の方向性は。</p> <p>大学等の合宿・研修施設として首都圏等への働きかけや、遠野市立民話の学校、農林業の学校、伝統芸能の学校、更には全国モデルとなった後方支援基地構想の学習の場等として、市内外の主に社会人を対象とした生涯学習と交流の場づくりの考えは。</p> <p>2 市内の高原や牧場の魅力を生かした観光地づくりについて</p> <p>市内には景観や展望に恵まれ、牧場や採草地に利用されている高原が多いが、本市の文化や地形の特性を生かし、旧宮守村時代に開催していた「寺沢高原まつり」のような自然を生かしたイベントなどで、高原や牧場が持っている魅力を発信するとともに、高原相互の連携とネットワーク化で誘客を図る観光地づくりの考えは。</p>

署 名

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

遠野市議会議長 新 田 勝 見

遠野市議会議員 佐々木 大三郎

同 菊 池 巳喜男